令和５年度　学校評価結果シート

１．学校の教育目標

聖く美しい心を理想に…

誠　実　　何ごとも心をこめてやりとげる子

明　朗　　いつも明るい歌声を絶やさぬ子

意　志　　どんなことにもくじけぬつよい子

２．今年度の重点的に取り組む目標・計画

⑴ 園の教育目標、教育方針をもとに指導計画を作成し協議を行う

⑵ 色々な遊びや体験をしながら基礎的な生活習慣を身につける

⑶ 野菜などの栽培を体験・観察をしながら興味を持ち「恵みに感謝」し食育を学ぶ

⑷ 異年齢の子どもたちとの活動を積極的に行い「やさしさ」の育成を図る

⑸ 地域の方々との交流や、施設訪問等でお年寄りと交流し「おもいやり」を育む

⑹ 文化学習を取り入れ、日本の文化・伝統を大切にする心を育成する。

⑺ 支援を必要とする子ども達の保育内容の充実を図る

⑻ 園を開放し、地域の方々や保護者等に園活動への理解・協力を図る

⑼ 子育て支援の充実を図る

３．具体的な取り組み

項　　目	具体的な取り組み内容
園の教育目標、教育方針の計画・協議	本園の教育目標、教育方針について共通の理解を持ち、子ども達の日々の保育活動や各行事の計画等、学年の繋がりをふまえ指導計画を作成
教育目標、教育方針に基づく教育	①いろいろな遊びや体験を通じて<学ぶ意欲><豊かな心><健康な身体>など総合的な力を育成する 以下の活動を行いながら、一人一人の子どもの成長を把握し、自立心・協調性を養い思考力の基礎を育んでいる。 【知育教育】　数・文字遊び、辞書遊び、自然観察で思考力の基礎を身につける 【英語教育】　歌やﾘﾄﾐｯｸ、簡単な英語での会話を楽しみ、国際理解を深めている 【体操教育】　体操（マット、跳び箱、鉄棒、平均台、エアーマット等）、縄跳、ﾗﾝﾆﾝｸﾞﾌﾟｰﾙ活動を行い体力や運動能力の向上を目指す。 【文化学習】　昔あそび、お習字、お琴、お手前、そろばん、将棋等々の古くから伝わり大切にされている文化・伝統にふれ豊かな心を育む 【物づくり体験教育】 野菜作り、お米の栽培、陶芸教室、泡遊び、手作りおもちゃ等様々な物づくりを通して発想・発見する力を育てる ②様々な体験・観察をしながら興味を持ち食育の大切さを学ぶ 多種の食物を栽培・観察を行い、育てる楽しさを経験し食べ物の大切さを学ぶ。 また、成長過程を観察することから科学（成長）的思考力を育成する。 ・野菜の栽培…ミニトマト・トマト・きゅうり・なすび・オクラ・えんどう豆・すいか等 ・米作り…田植え・稲刈り・はぜかけ・脱穀をし、収穫を喜ぶ会を実施 ③やさしさ・おもいやりの育成 ・異年齢の子ども達と様々な行事（入園式・対面式・七夕・夏祭り・ハロウィン・つなひき大会・お別れ会・お誕生日会等）を通じて触れ合い、「やさしさ」や「おもいやり」を育む教育に努める。 ④文化学習を取り入れ伝統を学び活動を愛する心の育成 年中は、伝承あそび・わらべうた・墨絵、年長では、お習字・お手前・お琴・そろばん・将棋昔遊び等を取り入れている。 ⑤　敬老の日に向け、お年寄りへの敬老はがきを作成し投函する。 ⑥　伝統文化に触れ日本文化を愛好する心を育てる。 ⑥　年長では、親子で竹馬を制作し親子のふれあいを大切にし又、昔の知識を学ぶ機会とする。
支援を必要とする子ども達の保育内容	支援を必要とする子ども達が理解しやすい絵本や教材を取り入れている。 玩具・遊具等にも配慮をし、保護者・心理士との連携を密に取り合いながら保育を進めるよう努めている。

保護者への、情報発信や説明・協力	各行事・保育参観・個人懇談会等の機会を利用し、クラス運営や教育方針等を説明する機会を設けている。また、毎月「園だより」や「クラスだより」等を発行し、日々の保育活動の掲載することにより情報を発信し活動の理解に努めている。
子育て支援の充実	①未就園児保育（認可外保育） １・２歳児を対象に園内の保育室を利用し認可外保育施設として運営。 ②体験保育・園庭開放 たのしい遊びや体操を取り入れ毎回沢山の子どもたちの参加を集めた。
教職員の資質向上	コロナウイル感染を予防しながら、研修会に出来るだけ参加し職員の保育力、向上に努めた。 園内での教職員による研修会を実施し自己研鑽に努めた。
環境の整備	子ども達が安全で清潔感のある環境で、コロナ感染予防も行いながら、楽しく生活が出来るよう美化に努めている。園庭の植物や栽培など季節に応じた環境の構成も行っている。
施設・設備・園児に対する安全管理	連絡ツール導入し、教職員・保護者様との連絡等がスムーズに行える。 日々の安全点検を怠らぬよう教職員全員で意識し日々注意をはかっている。

評価の具体的な目標や総合的な評価結果

4．○自己評価（評価者数：　20 人）

評価項目	100~76	75~51	50~26	25~0	平均	結果
Ⅰ　保育の計画性	18　人	2　人	0　人	0　人	85.9　点	A
Ⅱ　保育の在り方・園児への対応	20　人	0　人	0　人	0　人	91.2　点	A
Ⅲ　保育者としての資質と能力	20　人	0　人	0　人	0　人	91.7　点	A
Ⅳ　保護者への対応	20　人	0　人	0　人	0　人	93.8　点	A
Ⅴ　地域の自然や社会とのかかわり	9　人	10　人	1　人	0　人	70.9　点	B
Ⅵ　研修と研究	12　人	7　人	1　人	0　人	76.0　点	A
Ⅶ　特別支援教育	17　人	3　人	0　人	0　人	85.6　点	A

※評価結果の表示方法

区分	点数	評価内容
A	100　～　76	十分達成している
B	75　～　51	達成している
C	50　～　26	取り組んでいるが、成果が十分ではない
D	25　～　0	取り組みが不十分である

評価に対する総評

評価の結果、Ａ評価６項目、Ｂ評価１項目となった。しかしＡ評価の内１項目はＡ評価基準の最低値でありＢ評価に近い結果になった。

評価項目毎では、Ⅱ．在り方・園児対応、Ⅲ．資質と能力、Ⅳ．保護者対応、の４項目が90点以上、Ⅰ．計画性、Ⅶ．特別支援の２項目が80点台と教職員それぞれが意識し取り組んだ結果と思われる。

各項目では、Ⅰ．計画性は非常に高く、年間計画に基づき各学年で話し合い管理者への相談・確認も行いながら進めていた。

Ⅱ．園児対応においても、それぞれの園児・保護者に寄り添い、きめ細やかな対応を行い主任・副主任もアドバイスを欠かさない。

Ⅲ．資質と能力は若い教職員が多く、学びの段階の者が多い。経験豊富な教職員と協力しながら保育に取り組んでいた。

Ⅳ．保護者への対応は園児対応と一緒できめ細やかな対応を心掛け対応出来ている。

Ⅴ．地域との関りにおいては、コロナ感染症が流行する前は、老人施設の訪問やバザー等で関りを持てていたが、コロナ感染症後は中々関りを持つ事ができず教職員の評価が良く無かった。

Ⅵ．研修は参加できる研修等に参加する様に取り組んでいる、しかし参加出来ていない教職員も居る

Ⅶ．特別支援については、年々支援を必要とする子どもが増える中、心理士のアドバイスを求めたり、経験豊富な教職員と話し合いながら保育を行う事が出来ており良い評価になった。

上のとおり、全体的に高い評価を得る事ができた。引き続き高評価を維持できるよう、教職員全員で協力し合い取り組んでいきたい。

5．今後に取り組むべき課題

働き方改革による勤務内容の改善を進める中で、行事の見直しが問われている。合理的に進めながら、かつ内容の充実を確保するかが今後の重要な課題である。若手の職員が多い中、職員の知識・技術・人間力等の成長を進めるのも課題となってくる。

支援の必要な子どもが年々増加している現状があり、職員の確保も大きな課題となっている。

今後も保護者からの信頼を失わないように、全教職員が一丸となり全力で保育に取り組より良い保育が提供していきたい。

6．学校関係者評価

評価項目		評価内容
教育目標・方針について		・豊かな心、健やかな体力、学習意欲のおかげで身についた ・幼稚園で身につけたい力（目標）11項目はいずれも適切であると思う。心身の成長に欠かすことの出来ない力をバランス良く養える目標であると思う ・遊びや様々な行事を通じて生きる力の基礎を育成されている
教育目標 教育方針 実施について	保　育	・様々な行事やクラス独自の取り組みを通じて子どもの意欲や力をのばす工夫がある ・先生方は子どもたち1人1人の思いを尊重し、安全面でもなるべくケガや危険の無いように見てくれた。園での生活を頻繁に報告していただけるのも子どもの様子がわかって安心できた ・お琴やお習字、米作り等々沢山の体験ができた ・丁寧な保育をしていただいた。子どもたちの事をよく見てもらい、危険な事やお友達との関わり等、注意・指導していただいた ・いつも子どもたちの声に耳を傾け、園児1人1人に実直に向き合っている。 ・いろいろありますが、毎日嫌がらず安心して楽に通えているのもお友達や先生方のおかげ。集団生活に必要な決まりや約束・必要なときの「ありがとう」「ごめんなさい」の大切さを指導されている ・選択保育において病欠での振替が出来ないのは残念でした
	行　事	・様々な行事を通じて「最後までやりとげよう」「がんばるぞ！」という気持ちを胸に、目標に向かって行動が出来る子どもたちの姿を見ることができた ・オールシーズン沢山の行事に触れる事が出来てとてもよかった。実際に体験し自ら体を動かしてお友達と活動することで理解を深める事ができた ・子どもたちの安全第一に最大限のことをしてくれた ・お泊り保育等ＰＴＡの要望、保護者の意見にも耳を傾けてもらえた ・コロナ過を経て縮小されたが、子どもたちが楽しめる最大限の努力をされている ・年間を通して様々な行事があり子どもたちの成長に多大な好影響を与えている。行事を乗り越える度に着実にたくましく成長している子どもたちの姿を見るとその成果は明らかだと思う。家庭では体験する事の出来ない行事が多いため是非今後も継続していただきたい ・コロナ過でも感染対策を徹底的に行い行事を実施できたのは先生方の努力があったから、今後もしっかり感染対策を行い子どもたちの為に頑張ってほしい
運営について		・職員の方々、ＰＴＡそれぞれの意見をすいあげより良いものを目指す努力をされている ・日々の園での様子などをこまめに連絡ツールより写真等見る事ができ安心して見守る事ができた ・職員の方々が協力し適切な運営がなされている。また、ペーパーレス化が進んでいたり、バスも新しくなったりと様々な面で適切な取捨選択が行われている印象 ・避難訓練や安全指導（交通・防犯）等で子どもが安全に対する意識や習慣が身に付くよう努めている ・安全面・管理面でも気配りが感じられる
教職員について		・先生のことば使いも丁寧で優しい ・職員の方、先生方はハキハキと挨拶もきちんとされ明るい雰囲気が感じられる ・常に子どもたちの事を１番に考えていつも行動してくれた。個々の人権を大切にし、また保育中等でも子どもたちが１番安心して過ごせるか、力を発揮できるのか考えてくれていた ・一人一人の良さを認め、見守り、言葉や命の大切さを伝え尊重した対応をしてくれた ・どの先生方も子どもたちの事を考えて保育していただき、いつも笑顔で子どもたちも先生が大好きです ・先生方をはじめ、職員の方々にはいつも子どもたちを最優先にきめ細やかな保育（対応）をして頂いてる ・子どもの個性を大切にして接している。その先生方も気さくで話やすい ・来園者に対し笑顔で元気に挨拶される方が多く園児の模範ともなり好印象。担任以外の子どもの名前も覚えて気にかけてくれる先生がいるのは心強い
保護者対応について		・園での様子を日々詳しく知らせて頂ける ・電話を掛けた時、園へ訪問した際の事務の方の対応がいつも丁寧で親切でした。普段の質問や疑問はもちろん子どものことで不安なことや心配事があった時も真摯に対応してくれた ・些細な事でも連絡をしていただき一緒に育ててくれていると心強かった ・保護者の意見に真摯に向き合っている ・連絡帳や連絡ツール（コドモン）を活用し臨機応変に保護者と連絡を取っていると思う。些細な事でも報告を頂けるため概ね良好な関係だと思う ・困った時に相談しご協力していただき解決できた。信頼できる。相談もしやすい ・連絡帳でいつでも連絡できる状況にあり誠実に対応いただける

地域との関わりについて	・コロナ過後、地域と関わる行事がなくなった ・直接の関りは無かったと思うがお話を通して交流が出来たように思う。中学生が園に体験で来てくれた時は、子どももとても喜んでいた ・コロナ流行依頼地域との関りは希薄になっている印象
ＰＴＡ活動について	・存在の意義が分からないところがある。 ・制服のリサイクル販売や行事のお手伝い等必要に応じて行われている ・経験をしたことで役員の方が子どもたちの為に動いて下さっていた事を知る事ができた。もっと保護者の方々に伝わっても良いのにと感じた。活動はすごく充実しており楽しく出来ました。先生方との関係も良くとても良い環境でした ・ＰＴＡ活動をされている方々、先生方も子どもたちにとって「よりよく」という思いを持っている方ばかりで感謝の思いで一杯です ・前年に比べ同じ活動数でも今年度は少し負担の多い内容に感じた。役員も一保護者のである為無理の無い程度で手く園と協議しながら円滑に活動が出来れば良いと思う ・コロナ過で中々地域との関りが持てないが、今年は早い時期に体験保育が実施され様々な人との交流する機会がもてて良いと思う ・活動を行う際に保護者の方々からお礼言葉を掛けて頂く事があり感謝するほか、先生方や子どもたちの笑顔やお話に癒され沢山元気をもらった。
その他	・個人の価値観が多様化し国際化が進む中、幼稚園としての目指すビジョンを明確化し益々発展の発展を ・きちんと制服を着ることも小さい頃に身につけれてよかった ・毎月発行される園だよりやクラスあだよりを通じ園やクラス全体の様子も分かった ・初めての事や新しい事でも声を聞いて取り入れるというのは難しい事だったと思います。これからもより良いように変化していける幼稚園でしたら嬉しいです ・課外教室（体操・バレエ・英語他）多く、様々な事を経験させてあげたいが時間が無い親にとって、幼稚園で取り組めるのは有難い

７．財務状況

公認会計士監査により、適正に運営されていると認められます